

五ツ太鼓で橋かけ交流

8月27日、青森県鶴田町太鼓の会のメンバーが五ツ太鼓小牟田流師範の内村千鶴さんから、直接指導を受けるため本町を訪れました。

メンバーが五ツ太鼓を始めたのは、平成13年に旧鶴田町から五ツ太鼓2台が届けられたことがきっかけ。これまで練習を重ね、現在レパートリーは10曲。今回、新たに3曲指導を受けられました。

会長の小島景子さんは「五ツ太鼓は、振り付けやバチさばきが難しいが、奥が深く、様々な曲に合わせて叩けるのが魅力的です」と話されました。

五ツ太鼓というだけで評判が良く、青森県内はもとより、県外からも依頼がくるそうです。

五ツ太鼓の演奏を初めて見た秋田市の方から結婚式での演奏を依頼されており、今回指導を受けた3曲はその時に披露されるそうです。



技能五輪全国大会出場

10月20日から23日にかけて香川県で開催される第44回技能五輪全国大会に宮之城高等技術専門学校が玉利大地さんと福盛大輔さんが鹿児島県選手団の一員として出場されます。

家具職種部門で競技に挑む玉利さんは「競技では作品を時間内に仕上げるのが大切。一番効率の良い方法で、自分らしさを出せる作品を作りたい」と、建築大工職種部門で競技に挑む福盛さんは「難しい課題もあるが、本校で学んだことを十分に活かして、良い作品をつくりたい。クラス18人の応援もあり、頑張りたい」と大会へ向けての抱負を話されました。



作業効率の一番良い方法を模索する玉利さん



大会に向け腕を磨く福盛さん

救急医療町民講座開催！

正しい知識が身を守る

9月8日、平成18年度の救急医療町民講座が開催され、約120人の方々が救急に関する知識や技術を学ばれました。



医師会の先生方による講演

救急医療町民講座は、毎年、「9月9日（救急の日）」や「9月4日〜10日（救急医療週間）」にあわせて、薩摩郡医師会が中心となって開催されています。

今年は、宮之城ひまわり館で開催され、薩摩郡医師会病院において一日看護師長を体験された健康づくり推進員の木下伊知子さん、五味スギさんによる体験発表や医師会の先生方の講演、消防本部の心肺蘇生法（実技指導）などがありました。

参加された町民の方々は、熱心に参加され、時間が足りずに実技が実施できない方も多くありましたが、今回学ばれたことで家族や職場、地域の尊い生命が助かることを期待したいと思います。



さつま町消防本部による心肺蘇生法実技指導